



「第27回 民間技術交流会」(令和6年8月22日プレス投げ込み)
の取材に関するお知らせです。

令和6年9月19日
中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所

第27回 民間技術交流会を開催します — 港湾・海岸整備における最新技術を紹介 —

令和6年10月8日に『第27回 民間技術交流会』を開催します。

先に別添にて聴講者を募集しております本交流会につきまして、取材に関するご案内を下記のとおりお知らせいたします。

今回は、約100名の方が参加を予定しています。交流会では、活発な意見交換が行われ、更なる技術の向上につながる情報共有の場となることを期待しています。

- 日 時** 令和6年10月8日(火) 13時00分~17時00分
- 開催場所** ウィンクあいち 会議室1001
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38
- 開催内容** 別添資料をご参照ください。
(別添) 令和6年8月22日付「第27回 民間技術交流会の聴講者を募集します」
- 取 材** 取材いただける報道機関の方は、別紙「取材登録」をご参照いただき、電子メールにて期限までにお申し込みください。会場に記者席をご用意します。
期限：10月7日(月) 17:00
交流会の資料は会場にて配布します。
当日の写真等をご希望の場合は、下記問合せ先へご連絡ください。
- その他** 災害その他の理由により、開催できない場合は当事務所HPでお知らせします
事務所HP: <https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/event/3020/index.html>
- 配布先** 中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース
- 問合せ先** 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町1-57-3
宇野(うの)、不破(ふわ)
電話 052-612-9984

メール送信先：pa.cbr-info-gicho@mlit.go.jp

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 事務局 宛

取材登録

第27回 民間技術交流会

※取材をご希望の場合は、以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。

(メール本文に直接入力し、送付いただく形で問題ありません。)

【記載事項】

1. 報道機関名

2. 取材者（複数名の場合は代表者）
 - ①御氏名
 - ②御役職

3. 連絡先
 - ①電話番号
 - ②当日に連絡可能な携帯電話番号（3. ①と同じ場合は不要）

申込締切り：令和6年10月7日（月）17：00

令和6年 8月22日
中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所

第27回 民間技術交流会 の聴講者を募集します — 港湾・海岸整備における最新技術を紹介 —

10月8日に第27回 民間技術交流会を開催します。本交流会は、民間事業者等により開発された有用な技術を紹介し、管内の港湾・海岸整備において積極的に活用することを目的に開催しています。開催にあたり、聴講者を以下のとおり募集いたします。本交流会を更なる技術の発展につながる情報共有の場としてご活用ください。

1. 日 時

令和6年10月8日(火) 13時～17時

2. 場 所

ウインクあいち会議室 1001

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38

3. 発表技術(各発表技術の概要は別紙参照)

- ① 腐食測定機『Dr.CORR』【飛鳥建設株式会社】
- ② 防波堤上部工のプレキャスト製品化【共和コンクリート工業株式会社】
- ③ PC-Unit 栈橋工法【五洋建設株式会社、株式会社日本ピーエス】
- ④ 3D 画像処理および AI を活用した港湾構造物の維持管理トータルシステム【五洋建設株式会社】
- ⑤ 超高耐久プレキャスト PC 栈橋【株式会社日本ピーエス】
- ⑥ サブプレオフフレーム(SPF)を使用した防波堤港内側補強工法【日建工学株式会社】
- ⑦ グラブ浚渫船の自動化【株式会社小島組】
- ⑧ リソイル Pro(リソイルプロ)工法【株式会社不動テトラ】

4. 募集要項

募集対象 : 建設関係者

募集人数 : 100名※定員に達し次第、募集を締め切りとさせていただきます。

参加費用 : 無料

応募期間 : 令和6年8月26日(月) 10時 ~ 9月 13日(金) 17時

応募方法 : 下記申込フォームからご応募ください

申込フォームアドレス <https://x.gd/PEdzD>

申込フォームアドレス QRコード





応募に関するお問合せ先： 特定非営利活動法人 伊勢湾フォーラム

E-mail： contact@isewanforum.org

電話： 052-951-4882

5. その他

- ・本交流会は、CPDS(継続学習制度)認定講習会です(4ユニット付与)。
- ※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。
- ・災害その他の理由により、開催できない場合は、当事務所HPでお知らせします。
- ・取材に関するお知らせは、後日発表させていただきます。

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、名古屋港記者クラブ、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

7. 問合せ先

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
宇野(うの)、不破(ふわ)
電話： 052-612-9984

【会場周辺案内図】



地図出典：ウインクあいち HP



(別紙) 第 27 回 民間技術交流会 発表技術一覧(発表順)

No.	発表技術	発表者	技術の概要
1	腐食測定機 『Dr.CORR』	飛島建設株式会社	鉄筋コンクリート構造物中の鉄筋の腐食を完全非破壊で推定できる腐食測定機 コンクリート中の鉄筋の腐食程度を推定する方法として、交流インピーダンス法がある。既存の測定機では、コンクリートを一部はつり出し、測定機と鉄筋を物理的に接続する必要があった。「Dr.CORR」は、鉄筋直上のコンクリートに接触端子を3つ接着させることで、構造物を破壊することなく鉄筋の腐食速度が測定可能である。(なお、それぞれの接触端子間の距離を1300mm以上確保する必要がある。)
2	防波堤上部工のプレキャスト製品化	共和コンクリート工業株式会社	従来現場打で施工していた防波堤上部工の一部をPca化することにより、工期短縮、省人化、被災リスクの低減、安全性に寄与する製品。
3	PC-Unit 棧橋工法	五洋建設株式会社、株式会社日本ピーエス	従来、棧橋上部工は海上での現場打ちコンクリートにより施工されていた。近年では、担い手不足や生産性向上の社会的要請により、現地の陸上ヤードでPCa部材を製作するサイトプレキャスト工法が採用されるようになってきたが、従来と比較して高コストとなる傾向が普及への足かせとなっていた。本技術は、全て工場部材製作を行い、現地で組み立てるだけのプレキャスト工法であり、上部工の軽量化を図ることによって、サイトプレキャスト工法と比較しても低コストでさらに工期も短縮できる技術である。
4	3D 画像処理および AI を活用した港湾構造物の維持管理トータルシステム	五洋建設株式会社	本システムは港湾構造物の維持管理をトータルで実施し、クラウド上で3Dモデルにより管理するシステムです。点検調査用の無線LANポートであるi-Boat等により撮影した写真等から、3Dモデルの作成、ひび割れや錆汁を抽出して劣化度の自動判定を行います。また、AIを用いて、地震により劣化した棧橋がどのように損傷するかといった残存耐力評価と、それを基にした上部工の危険範囲を提示します。さらに、過去の点検結果との比較やマルコフ連鎖などによる将来予測により劣化度や残存耐力がどのように変化し、それにより棧橋の供用可能な期間がどの程度になるのかを判断することができるシステムです。

※「発表技術」及び「技術の概要」は発表者の申請のとおり記載している



No.	発表技術	発表者	技術の概要
5	超高耐久プレキャスト PC 栈橋	株式会社 日本ピーエス	本技術は、優れた遮塩性を有する高強度コンクリートと高耐久な緊張材である内部充てん型エポキシ樹脂被覆 PC 鋼より線(ECF スtrand)を組み合わせたプレキャスト部材を使用することで、構造物の長寿命化を図る技術である。これにより、90 年以上の耐久性を有する構造物を構築することができる。
6	サブプレオフレーム (SPF) を使用した防波堤港内側補強工法	日建工学株式会社	従来、防波堤港内側補強工法として採用されている捨石腹付工は、コストや施工性が課題であった。一方、サブプレオフレーム (SPF) は、フレーム内に拘束された中詰石と下層の石が強固にかみ合うことにより滑動抵抗力を発揮し、コンパクトで安価な補強体を構築する。 また、防波堤の転倒抵抗を目的とした補強工法の共同研究 (港湾空港技術研究所、日本港湾コンサルタント、不動テトラ、日建工学の計 4 社による) を実施しており、SPF についても一定の補強効果が確認されている。
7	グラブ浚渫船の自動化	株式会社 小島組	大型浚渫船の長時間稼働による施工、潮汐や波浪の影響を受ける特殊な環境下での施工、高精度な施工位置管理と出来形精度の向上が求められる中で熟練オペレーターの不足による出来形のばらつき、労働負担により引き起こされるヒューマンエラー・災害等を自動化により低減。
8	リソイル Pro (リソイルプロ) 工法	株式会社不動 テトラ	「リソイル Pro 工法」は、建設現場で発生する土 (建設発生土) を地盤改良工事に活用する工法である。本工法は、施工機に新たな材料供給システムを導入することによって、発生土の改質※) を必要とせず、サンドコンパクションパイル工法の中詰め材料としてそのまま利用できる範囲を拡大したものである。 本工法の適用によって、サンドコンパクションパイル工法 (当社商品名 : SAVE コンポーザー) での中詰め材料の搬入や発生土の搬出といった運搬・処分に関わる環境負荷、砂という自然材料の採掘による環境負荷を低減し、コストダウンも図ることが可能となる。 (※) 改質とは、建設発生土にセメント、石灰、礫材などを混ぜて性状を変えることを指します)

※「発表技術」及び「技術の概要」は発表者の申請のとおり記載している

第27回民間技術交流会

名古屋港湾空港技術調査事務所では、有用な技術を積極的に活用していくため、その技術を発表していただく「民間技術交流会」を定期的を開催しています。本交流会の開催に当たり聴講者を募集します。

1.日時：令和6年**10月8日(火)**13:00～17:00 (12:15～受付)

2.会場：ウインクあいち 会議室1001 <〒450-0002名古屋市中村区名駅4丁目4-38 >

3.発表技術、スケジュール

13:00～13:10 開会

主催者挨拶／名古屋港湾空港技術調査事務所長

13:10～16:45 技術発表 (8題) 発表15分+質疑10分 ※途中休憩有

- ①腐食測定機『Dr.CORR』【飛島建設株式会社】
- ②防波堤上部工のプレキャスト製品化【共和コンクリート工業株式会社】
- ③PC-Unit栈橋工法®【五洋建設株式会社、株式会社日本ピーエス】
- ④3D画像処理およびAIを活用した港湾構造物の維持管理トータルシステム【五洋建設株式会社】
- ⑤超高耐久プレキャストPC栈橋【株式会社日本ピーエス】
- ⑥サブプレオフフレーム (SPF) を使用した防波堤港内側補強工法【日建工学株式会社】
- ⑦Grab浚渫船の自動化【株式会社小島組】
- ⑧リソイルPro (リソイルプロ) 工法【株式会社不動テトラ】

16:45～17:00 閉会

4.応募要項

申込フォームアドレスQRコード

募集対象：建設関係者

募集人数：100名

参加費用：無料

応募期間：令和6年8月26日(月)10時～9月13日(金)17時

応募方法：下記HPの申込フォームからご応募ください。

申込フォームアドレス：<https://x.gd/PEdzD>

注意事項：お申込みは先着100名様までとなり、募集人数を超えるとフォームはクローズされ、お申込みが出来ません。

フォームでの応募が可能な場合は、ご参加頂けますので、改めての当選通知はいたしません。

応募等に関するお問い合わせ先：特定非営利活動法人伊勢湾フォーラム

E-mail：contact@isewanforum.org



5.その他

●本交流会は、CPDS (継続学習制度) 認定講習会です (4ユニット付与)

※全国土木施工管理技士会連合会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたし兼ねます。

●災害その他の理由で開催できない場合は、当事務所HPでお知らせします。

【会場周辺地図】



地図出典:ウインクあいちHP

会場までのアクセス

JR名古屋駅桜通口から：ミッドランドスクエア方面 徒歩5分



国土交通省

中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所 <担当；宇野、不破 >

〒457-0833名古屋市中村区東又兵衛町一丁目57-3 ☎052-612-9984

<https://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>



HP QRコード

